

うきしま

第83号

令和5年12月20日
PTA広報部

特集

文化祭

令和五年十一月十日（金）、浮島分校体育館にて文化祭が開催されました。舞台発表の部では、各クラスによる発表の内、三クラスがプロジェクターを用いた動画映像発表で、ICTの時代を感じさせる発表となりました。クラス発表の後、音楽選択者による電子ピアノ合奏、教員コーラスなども発表されました。展示の部では、華道教室の作品や国語、美術、書道の作品の他に、有志による展示も加わりました。舞台発表も展示も、昨年とは異なる趣向が加わり、今年も楽しい文化祭となりました。また、今年の文化祭でもPTAからお弁当が提供されました。今年も、生徒が弁当専門店のメニューから希望する弁当を選ぶ方式で、生徒は文化祭が始まる前に、まず好みのお弁当を楽しみました。

第一学年



○テーマ 「絵画ムービー」
クラスのみんなでそれぞれ思い描いた絵を頑張って描きました。描いた作品をムービーで発表しました。絵画は、通常パネルに貼ったり、額に入れたものを掛けて展

第二学年

示しますが、ムービーをBGMと共にプロジェクターで発表するという斬新な手法でした。



○テーマ 劇「赤ずきん」
童話「赤ずきん」をベースに、生徒たちで考えた「二年生オリジナル赤ずきん」でした。四クラスの中で唯一舞台上で演劇を行いました。舞台上で繰り広げられる演技は、次に何が起こるか予測できない面白さがありました。

第三学年

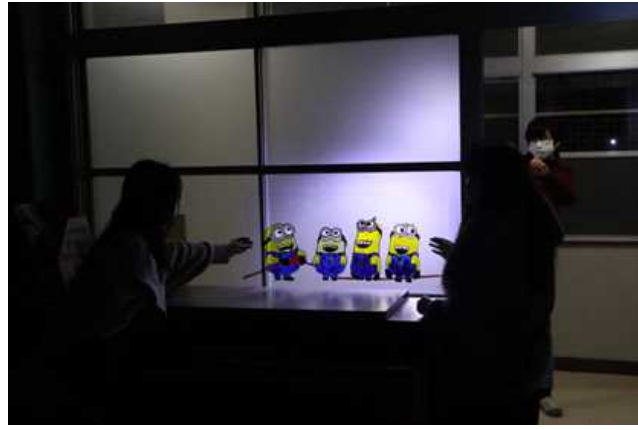


90度に曲がりました

※編集の関係でテロップが切れております。正しくは「90度に曲がりました」です。

○テーマ パフォーマンス
「マジカ！3年」
教員も交えて一人一つずつマジックを披露しました。実際の舞台だと、小さなマジックは見えにくくなりますが、プロジェクターによる動画発表は、テレビを見ているような感覚で楽しめました。

第四学年



○テーマ ガラス絵具アート
くミニオンズく

生徒三名と少ない人数の中、パ
ネルを一人四枚ずつ仕上げ、それ
らをつなぎ合わせてひとつの作品
にしました。この「ガラス絵具ア
ート」もプロジェクトによる動
画上映という形で発表しました。
結果としての作品を見せるだけ
ではなく、制作過程も見せること
で苦労しているところがよく分か
りました。

クラス発表以外の発表



教員のコーラス発表



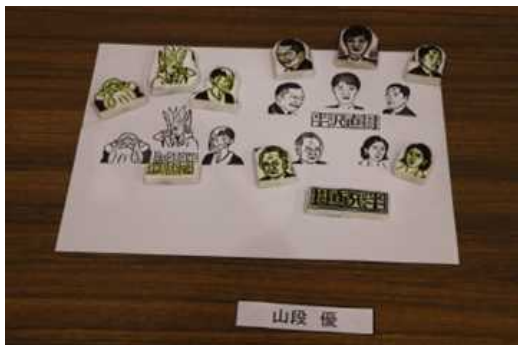
1年生 音楽選択生徒による発表



書道選択生徒の作品展示



美術選択生徒の作品展示



有志展示 消しゴム版画作品
山段 優



国語科「本のPOPを作ろう」

足元のタカラモノ

校長 塩尻 徹



浮島分校PTA会員の皆様にはますます御清祥のこととお喜び申し上げます。皆様には、日頃から浮島分校の教育活動に御理解と御協力をいただき、心から感謝いたします。

長く続いた新型コロナウィルスの社会的影響も徐々に小さくなってきた一方で、インフルエンザの感染拡大という心配が続いています。誰もが健康で安心して過ごせるように一人ひとりが心掛けることは今後も大切ですので、引き続き御理解・御協力をお願いします。

二学期も、生徒の皆さんは日々の授業に加え、文化祭や遠足、総

合的な探究の時間での校外学習、ポート実習などに行きつかりと、楽しんで取り組んでくれました。4年生は各自の希望進路実現をめざして試験等を突破し内定・合格を勝ち取りました。ご家族や教員などの支援を得て、生徒たちが日々小さなゴールを積み重ね一歩一歩前進している姿を見て本当に頼もしく思っています。今後も各自が自分のペースを大切に行きつても学校や社会の要請に応え、社会の一員として自立していくことを願っています。

さて、私はこの二学期にいくつかの素敵な言葉に出会いました。その一つが「足元のタカラモノ」という言葉でした。これは舞鶴市出身で東舞鶴高校の卒業生でもある三浦雅之さんから聞いた言葉です。三浦さんは現在、奈良県で「プロジェクト栗」と銘打って農業を軸とするソーシャルビジネスを展開し、大和伝統野菜を守り育て元気な地域づくりに取り組んでおられ、その様子はテレビ等でも紹介されています。そんな三浦さんは、舞鶴や京都北部にもたくさんタカラモノがあり、それに気づくために私たちがしつかり足元（地元地域）を見つめよう、と教えてくださいました。また、タカラモノを育む地域を見つめる上で「七つの風」に注目しようと言われます。

七つの風とは、風土（土地そのものが持つ性質）・風味（そこで営まれる農業などがもたらす味わい）・風景（それらを生み出す景観）・風習（自然と調和して生きていくための知恵）・風物（自然のものを利用してつくる道具や物）・風儀（そこから生まれ定着する生活文化）・風情（これら六つの風の中で培われる価値観や心持ち）です。そして三浦さんは、この七つの風が私たちのコミュニティをつなぐカギになると言われます。私たちの日々の生活を振り返れば、忙しさや困難などに振り回されて足元のタカラモノを見落としたり、ゆっくりと風を感じることを忘れていたりしていませんか。そして、自分たちの住む地域には何もないと嘆き、容易に地元を離れてしまう若者も少なくありません。しかし、決して何もないなんてことはありません。農業だけでなく他の産業、分野においても、足元のタカラモノを見つめ直したり、新たなタカラモノを創造したり、それらを活かして地域を元気にしたりする活動はあちこちで盛んになっています。地元の人と他所からやって来た人たちが力を合わせていっそうよい街にしようとして頑張っています。ぜひ、浮島分校に集う私たち一人ひとりも自分たちのやれることを考え、アクションを起こしていきましよう。

前向きにそんな時間を過ごした先

に生徒の皆さんの進路、そして明るい未来が拓かれていくと思いません。

PTA会員の皆様には、これからも本校の教育活動に御理解と御協力をいただきますようお願い申し上げますとともに、浮島分校PTA活動がさらに充実発展しますよう祈念いたしまして挨拶とさせていただきます。

各学年より

一年担任 河本 壮平

もう三学期になります。とはいえ、三学期を短く考えてはいけません。担任は経験したことが無いので具体的には分かりませんが、舞鶴の冬は厳しく、登校が難しくなった先輩たちも多いと聞きます。

時間に余裕をもって登校することを心がけましょう。出来ているクラスメイトたちを見習いながら、初めての浮島分校での一年間を走り切ってほしいと思います。

二学期の文化祭からクラスメイト同士、話すことが多くなったと思います。お互いに繊細なところがあるはず。攻撃的な言葉

でなくても、相手を傷つけてしまうことも多いでしょう。傷つけられないように気をつけながら、傷つけられたときに悪気があって言ったんじゃないだろうと気持ちを直しつつ、しんどいときは先生たちに相談するようにして下さい。

二年担任 青松 載剛

一年間の中で一番長い二学期が終了しました。

約四ヶ月過ぎた中には、球技大会や文化祭、遠足と盛りだくさんの学期となりました。

球技大会では、ソフトバレーボールとバドミントンを実施し、二年生がどちらも優勝できました。遠足では、自分たちで計画を立て、神戸の街を思うように散策し、皆楽しむことが出来ました。文化祭では、「赤ずきん」を基に台本を自分たち流にアレンジし、ステージで発表することが出来ました。学校で過ごす時間が、ほとんど授業しかない中で、二学期は交流する時間が増え、二年生がチームとして一つのことを成功させるために話し合い、協力することができた期間になったのではないでしょうか。

その他では、テストに向けて教え合いをしている生徒がいたり、その場面を見て負けないように勉

強に取り組んでいる生徒がいたり、一学期にはなかった良い変化も見られるようになってきました。本当にあつという間に成長するなあと驚かされます。この調子で三学期もこれから先も過ごしていけると良いですが、良い時ばかりではないです。そんな時も、一人ではなく、みんなで乗り越えられると良いですね。

三年担任 温井 正人

あれよと言う間にストーブ設置の時期を迎え、長かった二学期も終わりました。

世界的には、ロシアによる侵略行為は以前ほどの報道数ではなくなりましたが、先行き不透明となり、さらにイスラエルによるガザ地区のハマス殲滅作戦が勃発。紛争に次ぐ紛争で今年も終わりそうです。

さて、今年の文化祭は各学年とも工夫が見られました。特徴としては動画発表が多かったことでしょうか。現代の風潮と言ってよいかもしれません。三年生もマジックを一人一つ習得して、映像収録による発表に取り組みました。今年度は全員が発表披露できたことが一番の収穫であったと思います。来年の内容に期待したいところです。

また、バス遠足は神戸となり、初めて訪れる生徒もいたようです。車移動の多い舞鶴の生徒にとって、都会で地下鉄等を利用したり、雑踏の中を目的の地まで移動したり、時間通りに集合したりすることは大事な社会勉強のひとつです。神戸は行動するには適度な街の規模であり、生徒は思い思いに都会の空気を満喫できたようです。

最後に、後期の生徒会選挙では三年生という学年でもあり、生徒会長や体育委員長などをやってみようとする生徒がいました。いろいろな経験を積んで欲しいと思います。また、三学期は地元舞鶴の紹介を京都での課題学習発表会で披露することになりますが、昨年の経験を活かして欲しいところです。

四年担任 山本 彰治

長かった二学期もようやく終わりました。

四年生にとっては、進路決定という人生を左右する大事な学期となりました。

まずは二学期に行われた大きな行事から述べますと、十一月十日に文化祭を行いました。過去にはダンスや楽器演奏を行いました

が、最後となる文化祭では、生徒からの発案によりガラス絵具によるアート作品を作成しました。現在の登校生は三名と非常に寂しいのですが、その中で、全員が力を合わせ作成しました。下絵は鉛筆で作成し、その上にA4サイズの透明アクリル板を十二枚つなぎ合わせてガラス絵具で縁取りしてカラー付けをしました。四日間かけ作成し、その過程をビデオで撮影し、文化祭当日は大きなスクリーンで映し出しました。最後に出来上がった作品を後ろからライトを当てて舞台上で披露しました。

今まで全員が参加した文化祭はなかったのですが、最後に少数精鋭ながら全員が参加し、良き思い出となりました。

十一月十六日には神戸方面へバス遠足に行きました。それぞれ南京町の中華街で昼食や、ハーバーランド周辺での買い物など、最後の遠足を満喫していたように思います。

進路についてですが、一名が就職希望、二名が専門学校を希望し、それぞれ合格を目指して勉学に励みました。

それぞれの生徒について調査書や推薦書の作成、面接の練習など担任にとりましても精神的な負担が大きかったのですが、無事に全員が第一希望へ合格し、嬉しさと

同時にホッとしました。
しかしながら、欠課時数が増えてきている生徒もいますので、卒業まで気を抜くことなく有終の美を飾ってほしいものです。

学年部以外の校務分掌より

教務部長 村上 和也

長くいろいろな取り組みをしてきた二学期が終わります。この二学期で生徒たちはそれぞれに力をつけ、成長でき充実した学期だったと思います。学習だけでなく行事でも自主的な活動ができるようになってきていると感じました。少しであってもできなかったことができるようになったり、やろうとしたことが積み重なって、新たな一歩が踏み出せたように思います。

文化祭ではそれぞれに協力をし一つのものを作り上げようとす姿勢が感じられました。例年以上に良い取り組みをしていたと思います。遠足では自分の行動を自分で決めて行動し、計画する力が育ったように思います。ひとりひとりが自我をもって行動し尊重さ

れていたと思えました。考查前も自主的に集まって、学習会をしたり教えあう様子はこれまでに見られなかった良い傾向でした。テストを頑張ろうとするのは普段の授業にも意欲を出せることで、学習する力を高められているように思いました。

欠席も少なくなってきた、二学期の後半は全校生徒がそろって登校している日が何日も見られるようになってきました。

実りの多かった二学期を学年のまとめとなる三学期につなげていくことを願っています。

三学期の始業式は、一月九日です。

生徒指導部長 山段 優

長かった二学期もようやく終わりました。生徒たちは比較的元気に過ごしてくれており、ほっとしております。

さて、二学期は文化祭、遠足等多くの行事がありました。文化祭では各学年や教科での発表を行いました。今年は映像制作での発表も増え、新たな表現の在り方について開拓してくれました。短い準備期間の中、一人一人がしっかりと取り組み、充実した表情が見られたことを嬉しく思っています。

また、遠足は神戸方面にて自由散策を行いました。事前に行きたいところについて調べ、それぞれに時間いっぱい楽しむことができたのではないのでしょうか。

様々な行事を通して、新たに交友関係を広げたり、好きや得意を見つけたりすることに繋がっていることを期待します。

残すは三学期、一年間の締めくくりとしてさらに充実した学校生活を送りましょう。



遠足（神戸にて）

**進路指導部長代理
副校長 坂根 賢**

令和五年度の四年生、いわゆる卒業予定者は三名と少人数です。この卒業予定者の内、就職希望者是一名でした。今年度の求人状況については、就職試験前である八月時点で、浮島分校で受理した求人票件数が三〇五件でした。この件数は、前年度同時期で二五五件であったことから考えると、前年度を凌ぐ良好な求人状況であったといえます。しかしながら、求人件数は職種によつて偏りがあり、事務職の求人は希少でした。浮島分校の就職希望者は、希少な事務職の求人を探し出し、見事に一回の応募で内定を勝ち取りました。

あと二名の卒業予定者は進学希望で、一名は地元にある京都職業能力開発短期大学校に合格し、もう一名は松江看護高等学校に合格しました。クリスマスを待たずに、三名全員が進路を決定した結果となりました。

一年から三年の生徒のみなさんは、これから進路希望を明確にし、希望実現のために準備をし、四年生で希望を実現していくこととなります。二学期期末考査終了後の

特別時間割の中で『進路を選択する』ということ』と題して進路学習を行いました。自分にとってより良い進路選択ができるよう、社会に広くアンテナを向けて、自分の進路について自問自答してほしいと思います。

保健部長 太下 絵里香

今年度は早い時期からインフルエンザが流行しましたが、これからさらに感染症の流行しやすい季節です。ここ数年でみなさん感染症対策を身につけてこられたと思います。それを続けてください。

換気は空気の流れを作るために行います。寒くなると渋ってしましますが、暖かくしながら換気を続けてください。暖かい空気は天井付近にたまりやす。サーキュレーターを人に直接あたるように使用するのではなく、上にたまっていく暖かい空気にあてることで、部屋の空気が循環し暖房効率も上がります。サーキュレーターの風を使って、効率よく換気をしてください。

また、水が冷たくて手洗いを避けたくなると思いますが、洗剤を使って丁寧に手洗いをしてください。昨年度よりトイレでは温水が

出るようになりました。最初は冷たいですが、洗剤で手を洗い、洗い流す時には暖かくなっています。手がきれいになり、暖かくなるので一石二鳥です。寒さの感じ方は人それぞれです。暖房だけでなく、厚着、ひざ掛けや座布団等も防寒に効果的だと思います。できることで寒さ対策をしてください。

長期休暇中もしっかりと睡眠をとって、バランスよく栄養をとって、楽しく健康に過ごしてほしいです。

一学期の健康診断の結果、受診の必要な人は、受診報告書の提出をお願いします。これからも、自分の健康管理をできるように、できることの継続をお願いします。

P T A トピックス

【郡部育友会連合会】

十一月一日(水)、明治国際医療大学にて京都府立高等学校校定時制郡部育友会連合会(略称「郡育連」)の研修会が開催されました。浮島分校代表として山田まゆみ様に出席していただきました。研修Ⅰでは、「生活習慣

・栄養と健康について」と題した鍼灸学部教授 伊藤和憲先生の講演を拝聴しました。研修Ⅱでは、明治国際医療大学の施設見学を行いました。

生徒の活躍

祝 全国高校生

創作コンテスト

優秀賞 連続受賞

☆第27回全国高校生

創作コンテスト

※國學院大学

高校生新聞社主催

○短篇小説の部

2年 吉田 璃子

作品「鏡写しのような」
優秀賞

吉田さんは、第二十六回コンテストに続いての優秀賞連続受賞となりました。令和五年十二月三日(日)、國學院大学渋谷キャンパスにて開催された表彰式で表彰されました。

☆令和5年度近畿高等学校

**定時制通信制課程体育大会
バドミントン競技府下大会**

〈開催日〉

令和5年9月24日(日)

〈会場〉

京都府立東舞鶴高等学校
浮島分校体育館

〈戦績〉

○男子団体 3位



華道教室作品展示